

自己評価結果等の公表にかかる届出書

R8 年 5 月 13 日

所在地 長崎県南島原市深江町戊3148番地9

法人名 社会福祉法人 コスモス会

代表者 理事長 本田利峰

1 事業所情報

事業所名	ブライト			
事業所番号	4251300085			
事業の種別	☐	児童発達支援	指定年月日	年 月 日
	☒	放課後等デイサービス	指定年月日	R元 年 12 月 1 日
所在地	長崎県南島原市深江町丙1925番地1			

2 公表状況

公表日	《児童発達支援》	年 月 日
	《放課後等デイサービス等》	R8 年 5 月 20 日
公表方法	《児童発達支援》	
	☐	ホームページ掲載 (URL)
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)
	☐	その他 (具体的な方法)
	《放課後等デイサービス》	
	☒	ホームページ掲載 (URL https://sfhcosmos.wixsite.com/fdaych)
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)
公表内容	☐ その他 (具体的な方法)	
	各サービスの自己評価結果及び保護者結果を添付すること。 ※会報や事業所掲示の場合、会報の写し、掲示場所の写真などの公表方法が具体的にわかる資料を併せて添付してください。	

担当者名	片山 郁子
連絡先電話番号	0957-65-1800

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブライト			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日 ～ 2026年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2026年2月1日 ～ 2026年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動を通してさまざまな体験ができるようにして努めております。	地域資源を活用し、イベントなどで社会参加の機会を作っています。また、買い物体験や調理体験などで日常生活に必要なスキルを身につけられるようにしています。	利用児が主体的に活動に取り組めるよう、グループ編成に配慮し、一人一人の課題に応じてスモールステップで進めていきます。
2	利用児との関わりを大切に、一緒に遊ぶ時間や話を聴く時間を多く取るようにしています。	毎月、こども会議を開催し、活動内容を話し合う機会を提供しています。この機会を積み重ねることで、自分の意見が言えるようになり、成長、変化が感じられております。	今後も利用児の話を聴く時間を作り、好きなことや得意なことを更に伸ばせるよう支援していきます。
3	個々の特性に合わせ、視覚的支援を充実させています。	写真、絵カード、動画、やってみせるなど、ご本人が理解できる方法で情報提供し、意思確認を行っています。	構造化を行い、利用児と相談しながら、安心して落ち着いて過ごせる居場所作りを継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の他の子どもとの交流の機会は設けておりますが、活動の目的や意義について十分に伝わり切れていない部分があると感じています。	地域の公園での活動や地域イベントへの参加、法人内の他事業所と合同活動、ボランティアとの交流など実施しているものの、活動の目的やねらいを明確に伝えることが十分ではなかったと感じております。	情報発信にあたっては、目的や意図を明確に伝えるとともに、書面や連絡帳に加え、SNSなど多様な媒体を活用していきます。各家庭の状況に応じて、より確実に情報が届く環境づくりに努めていきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
ブライト		2026/3/						
		利用児童数				回収数		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				広く、職員の方が目の届くようなスペースだと思います。	広く活動できるように、環境調整に努めながら、戸外での活動も取り入れていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				3:1の職員の配置だと聞いているので安心してます	人数に対して職員の配置を、しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				子どもの特性に応じて環境整備など配慮して頂いております	車椅子の方も安全に移動できるように事業所内は全てバリアフリーとなっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100%				子ども達の活動において清潔さなど問題なく、職員の方の目も十分に届くようになっていると思います	日々の清掃と共に、感染症対策として消毒、換気、食事の際の環境設定など衛生面での管理を徹底します。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				しっかり見て頂いて、特性や状況に応じて褒めてもらっていると感じています	利用者さんの特性や保護者のニーズに合った支援プログラムを考えていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				支援プログラムと支援内容は合致していると思います。	支援プログラムの内容に沿って支援を行い、必要に応じて見直しを行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				面談の上計画作成されて、子供の発達のどこに当たるのかもわかりやすいです。子どもの課題や現状をよく見て頂いて、親から見た子どもの話を聞いて頂いて、作成してもらっています。定期的な面談で聞いてもらっています。	引き続き、利用者さんの様子をお伝えしつつ、保護者のニーズにも応えていけるよう努めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				子どもとの関りをいつも相談できるように配慮されています「移行支援」に関しては現在、支援が必要になる場面がないのでわかりません。	定期的にモニタリングを行い、ご本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				個人ではできないことを沢山体験させて頂いています	契約時やモニタリング時に個別支援計画の説明を行い、計画に沿って支援しております。達成された時は家族と情報共有し提案しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95%	5%			様々な体験をさせて頂いていますが、それが活動プログラムかに含まれているかわかりません。	こども会議を行い、利用者さん達のリンクエストも取り入れた活動を提供しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	61%	17%	5%	17%	事業所では保育所などとの交流や活動する機会はないように感じます。	いとも大作戦、運動会、ブルーベリー狩りなどの野外活動を行い、地域の子どもさんとの交流の機会を作っております。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				全て最初に時間を取って丁寧に説明して頂きました。	契約時に説明し、お問い合わせがあった際には、その都度、対応しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				今の現状と今後の目標を明確に示してもらってわかりやすかったです。	契約時やモニタリング時に個別支援計画の説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95%	5%			研修会はありませんが、実際困った時は相談し助言をもらえる環境であります。	家庭でもできる療育的な関わり方を随時お伝えしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				連絡帳に書いたことを良く覚えて下さり、その日にあったことや様子をしっかりと書いてあり、連絡帳や電話での情報共有ができています。	電話や連絡帳（その日の活動の様子を写真添付）送迎時などで、1日の様子をお伝えしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				アセスメントを実施して頂きました。	定期的に面談を行い、困り事への相談や知りたい情報の提供を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				できるようになったことなど、共有してたくさん褒めて頂いています	保護者の悩みに寄り添い、必要に応じて相談、助言をさせていただいております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100%				保護者会を年2回、行事など開催して頂き、保護者同士の交流もできています。	行事や活動を通して、保護者会や保護者同士の交流を図る機会を提供し、支援しております。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%			これまで情報伝達などでとても困るようなことはありませんでした。	写真やイラストなどを用いて説明し、連絡帳や電話でその都度、お伝えしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%			定期的に広報誌を発行し、活動については、個別に写真をもらっています。	毎月、広報誌を発行し、ホームページにも掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%		5%	個人情報などに関して特に問題を感じたことはありません。	個人情報の取り扱いについて、職員間で徹底しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%			各対応マニュアルは丁寧に説明して頂き、訓練もされています。	各マニュアルは策定しており、定期的に訓練も行っております。今後、保護者への周知に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%			訓練は毎月されています。毎月の広報誌や連絡帳で訓練の様子が分かります。	月に1回、火災、地震、洪水、不審者のうち1つの避難訓練を行っており、今後も継続します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%	5%		安全確保について十分に配慮されています	利用予定表や連絡帳などで、避難訓練や非常時の対応について説明を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	100%			怪我やトラブルなど異変が起きたら、すぐ連絡がありその時の状況説明や対応、処置について説明があります。	事故や怪我などが発生した際には、迅速にご連絡させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	89%	11%		自分の意見を通したいという気持ちが強く、もやもやする時もあるようですが、今まで通ってご指導ください。	こども会議や個別に話を聞く時間を設け、毎回利用を楽しみにしていただけるよう工夫をしております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	78%	22%		家でゲームをしたいだけなので「楽しくない」と言う事はありません。 美しいだけの場所ではないことを理解し、活動内容によっては気分が変わります。	こどもが興味を持てる活動を提供し安心して過ごして頂けるよう工夫しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%			とても満足しています。家ではなかなかできない体験をさせて頂いて少しずつ成長していると思います。	より支援に満足していただけるよう、今後も努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ブライト		2026/3/				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		定員10名と職員が集団活動ができる十分な広さを確保しております。	利用人数や利用者さんの特性など、その日の状況に応じて環境調整を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%		一人ひとりに向き合い、課題に応じた支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		絵カードを貼って視覚的にわかりやすいようにし、車椅子の方も安全に移動できるように事業所内は全てバリアフリーとなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日の活動後には掃除・消毒を行い、危険な物はないか確認をし、毎日の活動に応じたスペースの確保をしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個別での対応が必要な際は、相談室や共有スペースを活用したり、パーティションを使用しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		業務を行う上で、気になる点が出てきた際には、その都度、職員間で話し合いを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価表の結果を元に、活動内容や支援内容を見直し、改善しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎日グループミーティングで意見を出し、改善につなげております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		現在、第三者評価は行っておりません。必要性を検討した上で、今後、体制を整えていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		毎月、研修やケース会議だけではなく、法人内及び外部での講習に積極的に参加し、サービスの向上を図っております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムを作成し、ホームページで公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		保護者と相談しながら作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員会議で意見を出し合い、療育内容を決定しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		計画は職員に共有しており、当日、利用者さんが来所される前に、計画に沿った1日の活動予定を職員間で共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		医療機関での評価結果等も参考にしております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		定期的にモニタリングを行い、ご本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		職員間でアイデアを出し合い、意見交換しながら進めております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		時事や流行、利用者さん達のリクエストも取り入れた活動を提供しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		それぞれの特性に応じて、集団活動に参加できるような働きかけをしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎日、ミーティングを行い、支援内容の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		職員間で意見や気づきを出し合い、情報共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日記録し、課題や問題点を話し合っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		年2回（6ヶ月ごと）、サービス計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		活動内容を複数組み合わせ、自己選択、自己決定の場を設けています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		個別に話を聞き、スケジュール調整を一緒にしております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		必要に応じて相談支援事業所と連携をとっております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		学校送迎時に先生方とコミュニケーションをとり、情報共有しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		相談支援事業所や保護者からの情報を元に、就学前の状況などの把握に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		相談支援事業所を通じて情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		研修などが行われる際には、必要に応じて参加しております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			公園などの野外活動の際に、地域の子どもさんと交流の機会を作っております。	地域資源の活用やイベントの参加などで交流を図っていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		南島原市の子ども支援部会に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		電話や連絡帳、送迎時などで、1日の様子をお伝えしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		家庭でもできる療育的な関わり方を保護者へ随時お伝えし、困り事への相談や知りたい情報の提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明し、お問い合わせがあった際には、その都度、対応しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリング時にご本人や保護者の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		契約時やモニタリング時に個別支援計画の説明を行っております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		保護者の悩みに寄り添い、必要に応じて相談、助言をさせていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		行事や活動を通して、保護者会や保護者同士の交流を図れる機会を提供し、支援しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		保護者からのご意見を元に、ミーティングで活動内容や支援方法の見直しを行っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月、広報誌を発行し、ホームページにも掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報の取り扱いについて、職員間で徹底しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		写真やイラストなどを用いて説明し、連絡帳や電話でその都度、お伝えしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		年に3回といも大作戦の開催、夏にはブルーベリー狩り体験を開催し、小中学校の児童・生徒、先生、保護者が参加していただけています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		利用予定表や連絡帳や広報紙などで、避難訓練の計画、様子を伝えています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		毎月必ず、火災、地震、洪水、不審者のうち1つの避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		服薬や持病など、保護者に確認し、見て分かるように記載し職員間で情報共有しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		現在、食物アレルギーのある方はいらっしゃいません。	今後、食物アレルギーのある方が利用を希望される場合は、ご相談に応じます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画に基づいた研修や訓練を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約やモニタリングの際に、非常時の対応について説明を行っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットの記録を残し、ミーティング時に問題点や改善点の話し合いを行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		月に1回、虐待防止の研修を行い、日頃の支援の中で虐待がないか振り返り、確認しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時に説明を行い、個別支援計画書にも記載しております。	